※このメールは、東京都産業教育振興会の会員の皆様に対し、一斉に送付しています。

◇――――――――――――――――――――――――――――――◇

東京の産業と教育（電子版）
第６５号　令和８年５月２７日

◇――――――――――――――――――――――――――――――◇

この会報電子版は、専門高校を中心とした産業教育の魅力を発信しています。
会報電子版の記事は、都産振ＨＰにも一部掲載されております。合わせてご覧いただければと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

東京都産業教育振興会ＨＰ　https://www.tosanshin.org/

☆今号のコンテンツ――――――――――――――――――――――――――――――☆

【１】訃報（２月）

【２】新事務局のご紹介（４月）

【３】2026 年度第１回都立高校との就職情報交換会の報告（５月）

【３】令和８年度葛飾区産業教育懇談会の報告（５月）

【４】令和８年度理事会の報告（５月）

【５】令和８年度東京都産業教育振興会総会及び講演会のお知らせ

【６】令和８年度「作文コンクール」のお知らせ

【７】産学懇談会（第１回）のお知らせ

【８】情報提供のお願い

☆――――――――――――――――――――――――――――――☆

【１】訃報（２月）

本会の理事でありました安部元彦（満 61 歳）学校法人安部学院理事長、安部学院高等学校が令和８年２月 24 日に永眠なされました。
ここに生前のご厚誼を深謝し謹んでご通知いたします。
故安部元彦校長は、都内唯一の女子商業高校という学校の特性を踏まえ、「実社会で生きる力を育てる商業教育」を教育の中核に据えてきました。授業や学校生活のあらゆる場面において、簿記や情報処理、ビジネス系資格といった専門的な学びと同時に、社会人として不可欠な礼儀・マナー・態度の指導を重視している点に、その教育観が明確に表れていました。安部校長の商業教育の根底にあったのは、「多くの生徒がゼロから学び始める」ことを前提に、一人ひとりの成長を丁寧に積み重ねていく姿勢でありまし

た。資格取得を単なる結果としてではなく、学ぶ過程そのものを社会に出る準備と位置づけ、あいさつや言葉遣い、所作といった日常の行動を、実務教育の一環として指導してきました。こうした姿勢は、生徒が自信を持って社会に踏み出すための基盤づくりを重んじる、商業高校ならではの校長像といえます。また、大学との高大連携協定をはじめとする対外的な取り組みにも積極的で商業教育を学校内に閉じたものとせず、社会や高等教育機関との接続を意識した校務運営を進めている点も特徴であります。安部校長は、伝統ある女子商業教育の理念を継承しながら、現代社会に求められる実践力へと結び付ける「調整役」としての役割を果たしたといえます。

【２】新体制の事務局紹介（４月）

今年の組織体制は、
　加藤弘常任理事（都立学校教育部ものづくり教育推進担当課長）
　安藤紗季事務局長（都立学校教育部高等学校課計画担当課長代理）
　山元陽平主任（都立学校教育部高等学校課計画担当）
　綾部ひとみ主事（都立学校教育部高等学校課計画担当）
　花野耕一産業教育振興専門員(都立学校教育部高等学校課)
　菅原敏雄産業教育振興専門員(都立学校教育部高等学校課)
　早川忠憲産業教育振興専門員(都立学校教育部高等学校課)
　です。
今年度も引き続きよろしくお願いいたします。

【３】2026 年度第１回都立高校との就職情報交換会

　令和８年５月 12 日(火)　TKP 市ヶ谷カンファレンスセンターにて東京商工会議所により 2026 年度第１回「都立高校との就職情報交換会」が開催されました。
　このイベントは、高校新卒人材の採用ニーズを持つ東商会員企業の人事担当者の皆様と、都立専門学科高校の進路指導教員が個別に面談し、採用スケジュールや生徒の就労ニーズ、生徒を対象としたインターンシップ・職場体験等について情報交換できる人気イベントです。
　当日は、都立専門高校 16 校と企業 96 社が参加し、大変盛況な会となりました。
　参加校は以下の通りです。

【工業】足立工科高校、荒川工科高校、葛西工科高校、北豊島工科高校、
　　蔵前工科高校、総合工科高校、中野工科高校、練馬工科高校、六郷工科高校
【商業】大田桜台高校、葛飾商業高校、江東商業高校、芝商業高校、第四商業高校
【農業】農産高校
【産業】橘高校

　この交流会を主催していただきました東京商工会議所人材支援センターの皆様には、大変お世話になりました。改めて、感謝を申し上げます。

【４】令和８年度葛飾区産業教育懇談会の報告（５月）

令和８年５月 14 日(木)「テクノプラザかつしか」を会場として、令和８年度葛飾区産業教育懇談会を開催しました。

初めに、ご挨拶を東京商工会議所葛飾支部会長大塚喜司様、東京都産業教育振興会会長西澤宏繁様より頂き、続きまして趣旨説明を東京商工会議所葛飾支部工業分科会長杉野行雄様、東京商工会議所葛飾支部情報サービス分科会評議員大塚耕一様より頂きました。また、「アントレプレナーシップ教育の推進について」の説明を東京商工会議所葛飾支部松尾康弘事務局長からしていただきました。

今年は、全体会を昨年と趣向を変えて、参加型パネルディスカッション方式で行われました。今回のテーマは、「葛飾区の未来を担う産業人材の育成について～地域一丸となった教育推進の重要性～」でした。

(登壇者)

葛飾区産業観光部商工振興部課長	泉谷　昭裕　氏
葛飾区立立石中学校長	千葉　貴志　氏
東京都立葛飾商業高等学校長	岩崎　豊　氏
株式会社扶桑代表取締役社長	富田　成昭　氏

(ファシリテーター)

東京商工会議所葛飾支部情報サービス分科会評議員　大塚　耕一　氏

皆様から活発なご意見を頂き、活発なパネルディスカッションとなりました。

感想を葛飾区教育委員会市川茂教育長、東京都教育庁指導部河野敏弘主任指導主事（産業教育担当）、東京商工会議所小林治彦常務理事（本会副会長）よりいただきました。続いて、ご来賓のご挨拶を青木克徳葛飾区長、公益財団法人産業教育振興中央会岩井専務理事、閉会の挨拶を東京商工会議所葛飾支部金子昌男副会長（本会副会長）から頂き、閉会となりました。東京商工会議所葛飾支部の皆様には大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

〈主催者挨拶〉

〈共催者挨拶〉

〈趣旨説明〉

〈パネルディスカッション〉

会場の様子

登壇者左側から　千葉貴志氏、岩崎豊氏、泉谷昭裕氏、富田成昭氏
（ファシリテーター　大塚耕一氏）

パネルディスカッションの様子

〈感想〉

〈来賓挨拶〉

葛飾区長　青木　克徳

公益財団法人産業教育振興中央会
専務理事　岩井　宏

〈閉会挨拶〉

東京商工会議所葛飾支部副会長
（当会副会長）金子　昌男

【４】令和８年度理事会の報告（５月）

５月 15 日(金)午後２時から東京商工会議所にて令和 8 年度理事会を開催しました。当日は、西澤宏繁会長、金子昌男副会長、小林治彦副会長をはじめ 25 名が参加しました。

報告２件及び議案９件はすべて承認されました。この理事会で承認された報告･議案は６月 16 日(火)午後２時より東京商工会議所で開催する総会にて報告・提案いたします。

【５】令和８年度東京都産業教育振興会総会及び講演会のお知らせ

１　開催日時

（１）総会　　令和８年６月 16 日（火）
　　午後２時から午後２時 50 分まで

（２）講演会　令和８年６月 16 日（火）
　　午後３時から午後４時 30 分まで

２　会場・参加方法

（１）会場

東京商工会議所渋沢ホール　東京都千代田区丸の内３－２－２（丸の内二重橋ビル）

ＴＥＬ　03-3283-7500（代表）

＜地下鉄＞

東京メトロ千代田線「二重橋前〈丸の内〉」駅直結（B5 出口）

東京メトロ日比谷線・千代田線「日比谷」駅直結（B5 出口）

都営三田線「日比谷」駅直結（B5 出口）

＜JR＞

JR「有楽町」駅　国際フォーラム口より徒歩５分

JR「東京」駅　丸の内南口より徒歩 10 分

（２）総会・講演会：対面参加

（３）参加方法：

①総会・講演会に参加される方は、「出欠連絡票」を事務局の担当宛てにメール又は郵送にて６月５日（金）までにご提出ください。

②総会のみ、講演会のみの参加も可能です。

３　講演会について

（１）講師：名古屋芸術大学教育学部教授　中川直毅氏

（２）演題：「よもやま話しで、キャリアと労働法とコンプライアンスを考えていく～スキルの『矛』と身を護る『盾』でステキな職場を目指していこう！！」

（３）講演会は総会後午後３時から開催しますが、講演会のみの参加も可能です。

（４）対面開催

【６】令和８年度「作文コンクール」のお知らせ

１　趣　旨

東京都産業教育振興会の会員校である東京都内の中学校、中等教育学校、義務教育学校、高等学校、専修学校、高等専門学校及び短期大学等に在籍する生徒・学生を対象に、産業教育に関する作文の募集を通して、専門教科の学習や勤労への興味・関心や意欲を喚起し、将来の職業人の育成を図り、もって東京の産業教育の振興と発展に資する。

２　作文の内容

中学校の技術・家庭科の学習もしくは高等学校や専修学校等における専門教科の学習、または勤労に関わる体験的な学習を通して経験したことを踏まえて、そこから得た人生観・職業観、自己の将来に対する考え方・心構え等について述べたもの。

【テーマ】

作文の内容について、次のテーマ番号（①～⑩）から関係するものを選択して応募票の欄に記入する。

①授業等を通して学び得たこと

②インターンシップや現場実習等によって学び得たこと

③職場体験やボランティア活動等によって学び得たこと

④つくることの喜び、ものづくりの喜び

⑤働くことの喜び
⑥学習に対する心構え
⑦私の生きがい
⑧私の進路、将来の夢
⑨私の職業観
⑩その他（産業教育に関わる内容のもの）

３　応募資格

(1) 中学校の部

東京都内の中学校、中等教育学校の前期課程、義務教育学校の後期課程（東京都産業教育振興会の会員校に限る）に在籍する生徒

(2) 高等学校・専修学校等の部

東京都内の高等学校、専修学校、高等専門学校及び短期大学等（東京都産業教育振興会の会員校に限る）に在籍し、専門教科・科目を履修している生徒及び学生

４　応募方法

(1) 原稿の文字数は、1200 字以上 1600 字以内とする（改行による空白は、字数に含める）。

(2) 応募者は１校 10 名以内とする。

５　応募期限

令和８年９月 11 日（金）【消印有効】

○その他詳細については、東京都産業教育振興会のホームページをご覧ください。

【７】令和８年度産学懇談会（第１回）のお知らせ

令和８年度産学懇談会（第１回）は、都立芝商業高校を会場に、６月 25 日（木）午後２時から午後５時まで開催いたします。

都立芝商業高校は、竹芝旅客船ターミナルに近い東京都港区海岸一丁目にあります。全日制の商業科を設置した都立専門高校であります。1924 年の開校以来、長い歴史と伝統の中で実践的な商業教育を行っており、１年次でビジネスの基礎を学び、２・３年次には進路や興味に応じた専門科目を選択し、実社会で役立つ知識と技能を身に付けています。簿記や情報処理など資格取得指導も積極的に取り組んでいて、就職・進学の双方に対応した進路支援体制が整えられています。また、企業や地域と連携した体験的な学びを通じて、主体性や課題解決力の育成にも力を入れています。産学懇談会では、校内見学（施設・設備等）や学校概要・特色ある教育活動などを紹介、意見交換などを実施する予定です。この機会にぜひ、都立芝商業高校を見ていただければと思います。ご案内は、すでに通知しております。多くの方のご参加を期待しております。

【８】情報提供のお願い

特色ある教育活動情報など、ホームページに掲載したもの、あるいは掲載していないけれども会員の皆様に知ってもらいたいものがありましたらお気軽に事務局早川までご連絡ください。会報電子版でご紹介させていただきます。

【お願い】

この「東京の産業と教育（電子版）」は全文が著作権で保護されていますが、東京都産業教育振興会の会員校や会員企業の内部では情報共有してくださるようお願いいたします。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

東京都教育庁都立学校教育部高等学校教育課内
東京都産業教育振興会　事務局　（担当：早川）
〒１６３－８００１　東京都新宿区西新宿２－８－１
TEL　０３－５３２０－６７２９　都庁内線　５３－２４７
E－mail：Tadanori_Hayakawa@member.metro.tokyo.jp

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊